



県政フラッシュ



4/14 表敬 NHK BSドラマ「テンペスト」主演・仲間由紀恵さん



岡本幸江プロデューサーや主演の仲間由紀恵さんらとの会談の様子

7月放送開始予定のNHKのBS時代劇「テンペスト」(池上永一原作)の岡本幸江プロデューサーや主人公・孫寧温(真鶴)役を務める県出身女優の仲間由紀恵さんらが県庁を訪れ、仲井真知事に首里城公園や識名園など、県内の主要文化財で撮影を開始したことなどを報告した。

会談の中で仲間由紀恵さんは、「琉球のために命懸けで生きた主人公の強さを表現したい。視聴者に琉球の歴史を広く知ってもらい、より沖縄を好きになってほしい」と述べた。これに対し仲井真知事は「沖縄での撮影が順調に進み、ドラマ「テンペスト」が大ヒットとなることを願うと共に、それにより沖縄への観光客が増えることを期待している」と期待感を示した。

4/26 「第32回全国豊かな海づくり大会」沖縄県実行委員会発足



設立総会であいさつする仲井真知事

平成24年度に沖縄県で開催される「第32回全国豊かな海づくり大会」の沖縄県実行委員会設立総会が関係団体の代表ら約100人の参加のもと那覇市内のホテルで開催され、仲井真知事が実行委員会会長に選任された。

会長の仲井真知事は、「大会をとおして、県民に海の環境保全意識の高揚を図るとともに、個性豊かな沖縄の水産業と水産物の魅力を全国に発信できることは大変意義深い。皆様の力で大会を成功に導いていただきたい」とあいさつした。

同大会では、式典や稚魚の放流行事などが行われ、県内外から約50,000人の参加者を見込んでいる。

4/18 新たな振興計画に向けて 沖縄県振興審議会を開催



あいさつする仲井真知事

沖縄県振興審議会が那覇市内のホテルで開催された。同審議会は、県の振興に関する重要事項について調査審議する会議である。

今回は、平成23年度末に終了する沖縄振興計画に代わる新たな県の計画を策定するため、各界を代表する方々の中から36名の委員が参加した。会長には、琉球大学顧問の平啓介氏が再任された。

審議では「世界へ芸術、文化を発信できるような沖縄になってほしい」などといった多くの意見が出された。

5/7 北澤防衛大臣が来県、米軍普天間飛行場の県外移設などについて要請



要請書を手渡す仲井真知事

1月に続いて来県した北澤俊美防衛大臣は県庁で、仲井真知事ら県幹部と会談した。

仲井真知事は普天間飛行場の県外移設のほか、嘉手納飛行場より南の施設・区域の返還、日米地位協定の抜本的な見直しなど、9項目の要望書を北澤防衛大臣に手渡し「県外移設の実現に力を貸してほしい」と述べた。

これに対し、北澤防衛大臣は、沖縄の基地負担軽減策を常に追求していきたいとした。また、嘉手納飛行場より南の返還については「普天間が動かなければ動かない」とも述べ、普天間飛行場の辺野古移設について理解を求めた。知事は再度、県外移設に取り組むよう強く求めた。

目次

- 2 県政フラッシュ
- 4 **特集1**
国際森林年2011「森を歩こう!」
- 6 **特集2**
海では遊漁のルールを守りましょう
- 8 **特集3**
学生・卒業生の皆さんの就職を応援します!
- 10 飛び出せOKINAWA!!
ヒト・モノ・企業のグッジョブ「薬草」
- 12 県のうごき1
中小企業の資金繰りを支援します
- 13 県のうごき2
地球温暖化を防止しましょう
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつくよ人の輪地域の和「読谷村」

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならず、公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

美ら島沖縄 検索
<http://www.pref.okinawa.jp/churhome/>

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020



沖縄県産のアニメーション「島んちゅMIRIKa」
沖縄Mプロジェクト(沖縄県平成22年度観光農商工連携強化モデル委託業務)として、沖縄のアニメ制作の礎となるパイロット版アニメを制作し、沖縄発アニメの開発力・技術力を消費者・事業者にアピールする事業で生まれたキャラクターです。

13日	10日	9日	7日	4日	5月
沖縄振興審議会(内閣府)	知事東北地方出張(お見舞い・義援金贈呈 12日まで)	表敬 赤十字社員増強運動に係る知事メッセージ発表及び赤十字社費贈呈式 ユナイテッド航空 日本支社長 高橋亨氏	面談 防衛大臣 北澤俊美氏	民主党沖縄協議会ヒアリング	

28日	27日
第82回沖縄県メーデー中央式典	米国連邦議会 カールレヒン上院議員 ジムウエップ上院議員
第38回県市町村行政連絡会議	要請 沖縄県議会経済労働委員会委員
要請 (社)沖縄県経営者協会	表敬 沖縄伝統空手道振興会副会長 瀬長義常氏ほか
第5回東日本大震災沖縄県支援対策本部会議	

26日	25日	22日	21日	20日	18日	16日	14日
第32回全国豊かな海づくり大会 沖縄県実行委員会設立総会	面談 日本青年会議所沖縄地区協議会会長 花城大輔氏	表敬 陸上自衛隊第15旅団長 反怖謙 陸将補	沖縄県中小企業家同友会第25回定時総会	「沖縄から東日本へチムクルを届ける大会」 主催めんそーれ沖縄県民運動推進協議会	平成23年度沖縄平和賞総会	表敬 琉球大学学長 岩政輝男氏	表敬 NHK BS時代劇「テンペスト」制作報告 主演女優・仲間由紀恵さん
第5回世界のウチナンチュ大会 第3回実行委員会					第32回沖縄経済同友会通常総会懇親会	香港EGLツアーツアー再開歓迎式	

4月

県政日誌

沖縄の人口・世帯の動き

人口
139万3,037人
※前月比3,861人減

世帯
53万7,590世帯
※前月比391世帯減

※平成23年4月1日現在

国際森林年二〇一一年 「森を歩こう！」



森を歩こう！

森林は、人類のみならず生物全般の生存に欠かせないものです。国連は、世界中の森林の持続可能な経営、保全、利用の重要性に対する認識を高めることを目的として、二〇一一年を「国際森林年」と定めました。メインテーマは「人々のための森林」です。

林野庁は、日本におけるテーマを「森を歩こう」と定め、我が国における豊かな森林の維持、途上国の森林保全に対する国民の理解を促すため、各種イベントや啓発活動などの実施を計画しています。

貴重な動植物が多く生息生育するヤンバルの森に囲まれ、自然度が高く保たれている公園です。遊歩道は、森林セラピーロードとしても指定されており、バンガローや樹上ハウス、キャンプ場のほか天文台も備わっていて、森の中でゆっくりと心とからだをリフレッシュさせることができます。



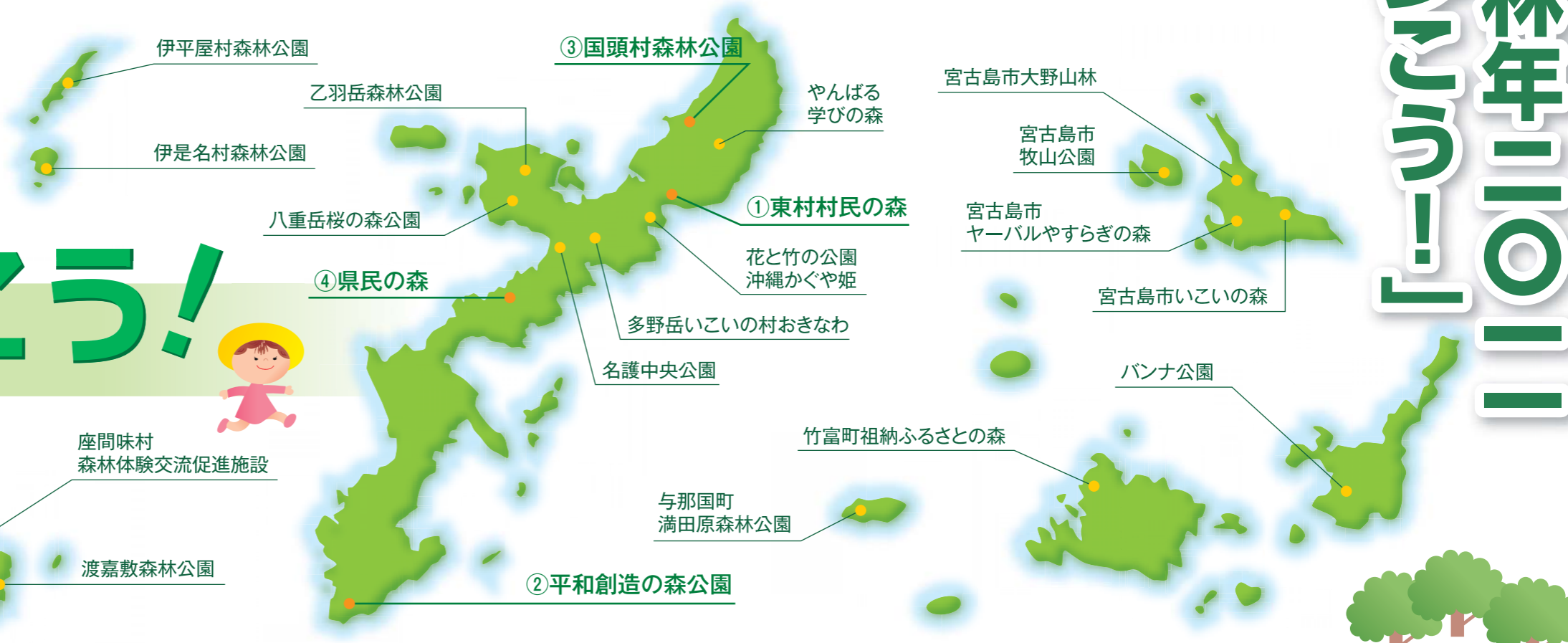
④県民の森
☎098-967-8092



③国頭村森林公園
☎0980-50-1022

キャンプ場では木炭を使ったバーベキューができ、遊歩道は三つのコースが整備されています。川沿いを歩きながら森林浴のできる溪流コース、トレッキングが楽しめる、各市町村の木が見られる登山コース、マテバシイの木が並び、秋にはたくさんのおもいでが見られる自然観察コースがあります。

Welcome to 森を歩こう!



久米島町だるま山森林公園

久米島町銭田森林公園



読谷飛行場返還跡地イメージ図

花を増やそう!

現在、沖縄県では、緑の美ら島の創造を目指し、県民総ぐるみで「全島緑化県民運動」を推進しています。そのため、自らの地域が「花と緑の名所」となるよう、地域住民参加による緑化活動に対して、花木・草花などの苗を提供する「グリーン・コミュニティ支援事業」を展開しているところです。

これまでに約二五〇団体の地域緑化活動を支援しており、特に読谷飛行場返還跡地では、花と緑による地域活性化を図ることを目的に、児童・園児の参加のもと、一五〇〇人の地域住民により緑化活動が盛大に行われました。六月には、約一三、〇〇〇㎡の広大な土地にヒマワリが咲き誇り、新たな名所として、訪れる人々に潤いと安らぎを与えることとしていっしょう。

国際森林年にあたって、さらなる県土緑化に向けた「三六五日花と緑と香りいっぱい」の美ら島沖縄づくりを推進してまいります。

森林公園ホームページ <http://www.pref.okinawa.jp/linmu/site/>

お問い合わせ 県森林緑地課 TEL:098-866-2295 FAX:098-868-0700



②平和創造の森公園
☎098-852-4033



①東村村民の森
☎0980-43-3300

小高い丘に植栽された約五万本のつつじ園をはじめ、バンガロー、オートキャンプ場、冒険教育施設などを備えた、体験型の公園です。毎年三月にはつつじ祭りが開催されます。

平成五年に開催された第四十四回全国植樹祭の跡地を整備して「平和で緑豊かな環境を創り、次の世代へ引き継ぐこと」を目的に開園した公園です。園内には、天皇皇后両陛下のお手植え木であるリュウキュウマツやフクギ、記念植樹された樹木などが並び、展望台からは緑豊かな園内と海が一望できます。

沖縄県漁業調整規則での禁止事項



禁止期間 シャコガイ類(6月1日から8月31日まで)
イセエビ類(4月1日から6月30日まで)

体長制限 イセエビ類(体長18cm以下)、ヒメジャコ(殻長8cm以下)、シャコウ(殻長15cm以下)
ヒレジャコ(殻長20cm以下)、ヒレナシジャコ(殻長30cm以下)
チョウセンサザエ(口径3cm以下)、ヤコウガイ(口径6cm以下)、タカセガイ(殻の短径6cm以下)
ヒロセガイ(殻の短径6cm以下)、クロチョウガイ(殻高10cm以下)、マベガイ(殻高10cm以下)
エラブウナギ(体長60cm以下)、ウナギ(体長10cm以下)

これを守らないと、沖縄県漁業調整規則違反として10万円以下の罰金と6ヶ月以下の懲役をあわせた罪に問われる場合があります。

捕らないでください!
漁業者からのお願いです!



遊漁船業者登録をしている船には、このような表記がされています。

ため漁業をしています。漁業権については地域ごとに対象種類が違うので、一般の人が遊漁を行う際は地元漁業協同組合に遊漁ルールについて確認してください。遊漁を楽しむには漁業者の立場を理解し、ルールをしっかり守る必要があります。

水産動植物によって捕ってはいけない時期や、決められた大きさになるまで捕ることを禁じられているものがあります。漁業者はこれらの規則に加え、地域独自のルールを作り、沖縄の海の貴重な水産資源を守る取り組みを行っています。

また、一般の人漁業者ともに捕ることを禁じられているものとして造礁サンゴ類やウミガメ類の卵があるなど、水産動植物を捕ることについては様々な制限があることを私たちは知っておく必要があります。

「海」は大事な資源であるとともに、私たちに食料を提供してくれる場でもあります。私たちが海のルールを守ることで、いつまでも豊かな水産資源を保ち続けることができます。資源には限りがあることを理解し、必要以上に魚介類を捕ることは避けましょう。

安全な船で釣りを楽しむ

釣り船は遊漁船業者として県へ登録する必要があります。遊漁船業者として登録している船は損害賠償保険に加入しており、乗員の安全を確保するための遊漁船業務主任者が乗船するように義務づけられています。

釣り船で安全に釣りを楽しむには、その船がきちんと遊漁船業者として登録されたものかどうか、船体表記を確認してから利用するようにしてください。

また、沖合に設置された浮魚礁(パヤオ)は、沖縄県漁連や漁協の利用承認を受けた漁業者のみが利用できます。承認ステッカーの表記のある遊漁船業者の船舶を利用するようにしましょう。



- 遊漁時、一般の人が行ってもよいこと
 - 手つかみ(熊手なども可)
 - 釣り(集魚灯などの照明器は使えません)
 - 素潜り(シヌノーケリングも可)
 - やす、は貝(発射装置を有するものは使えません)
 - 投網(船では使えません)
 - たも網、さで網
- 遊漁時、一般の人が使ってはいけない漁具
 - ×網漁具(刺し網、カニカゴなど)
 - ×水中銃
 - ×潜水器(スキューバダイビング装備など)

これらは、許可を受けた漁業者などに使用が認められている漁具であり、一般の方が遊漁で使用すると罰せられます。例としてマリンドライビングでは、潜水中に水産動植物を捕ることは禁じられています。また、水中銃でなくても、モリ類のようにゴムの弾力などで手元から飛び出す使い方はできません。

海の水産資源を持続的に利用するために

漁業者は「漁業権」という権利により、私たちに水産物を提供する

海では遊漁のルールを守りましょう

沖縄に住む私たちにとって海はいつも身近な存在であり、古来より海の恵みの恩恵を受けてきましたが、最近は水産資源が減少し、新鮮な魚介類が捕れにくくなっていきます。潮干狩りや釣りなどの遊漁では、私たちが守らなければならないルールがあります。沖縄の美しい海や水産資源を大切にするためにルールを知っておきましょう。

遊漁で気をつけるべきこと

最近では以前と比べて魚や貝など海の生き物が減ってきています。原因は様々ですが、水産

資源や海の生き物を保護するため、国や県では法令や地域のルールなどで遊漁時の漁具や漁法を制限したり、禁漁期間などの約束事を決めています。



就活キックオフイベント開催!

皆さんの就職を応援し、内定に向けて気持ちを盛り上げるため、就活キックオフイベントを開催します!

当日は人気バンド「ZUKAN」による就活応援ソングの披露、就職に関する講演、シンポジウムなど、内容も盛りだくさんです!

日時：7月14日(木)午後2時から
場所：沖縄市民会館



●今後の主な就職面接会・イベントなど

日付	イベント	場所	対象者
7/2	県外就職応援セミナー	浦添市 てだこホール	学校最上級生・卒業生とその保護者
7/13	高校生県内・県外就職説明会	沖縄コンベンションセンター	高校3年生(学校経由で参加)
7/14	就活キックオフイベント	沖縄市民会館	どなたでも参加できます
7/21	みんなでグッジョブ運動推進大会	パレット市民劇場	どなたでも参加できます
7/25	県外就職応援フェア(面接会・説明会)	沖縄コンベンションセンター	卒業生(大学・短大・専門学校最上級生も可)

※このほかにも、各種セミナー・面接会などを随時開催しています。雇用政策課ウェブサイトにてチェックしてみてください。

沖縄県雇用政策課

検索

学生・卒業生の皆さんの就職を応援します!



全国一厳しいと言われる沖縄県の雇用情勢の中でも、特に三十歳未満の若年者の失業率は十二・五%(平成二十二年)と高い状況が続いています。

その要因は、就職が決まらないまま学校を卒業したり、卒業後就職しないまま数年を過ごしたりすることであり、そうなるとその後の就職がさらに困難なものになると言われています。沖縄県では卒業を控えた学生の皆さん、就職が決まらないまま卒業することになってしまった皆さんのために各種の支援事業を実施しています。

新規学卒者緊急就職支援プログラム (就活パワフルサポート)

沖縄県は、県内の高校三十六校、大学八校に「専任コーディネーター」を配置しています。専任コーディネーターは、各学校に常駐し、来年三月卒業予定の皆さんの就職をお手伝いします。まず、今年度前半は学校と連携してマナー講座や履歴書の書き方、面接の受け方といった基礎的な講座を行っています。

さらに、就職活動終盤となる十月からは、企業開拓を行うとともに、就職面接会を合計九回開催します。面接会前には、企業分析、面接対策などコーディネーターによる個別支援で、内定獲得をバックアップします。

未就職卒業生県外就職支援プログラム

未就職のまま高校・大学などを

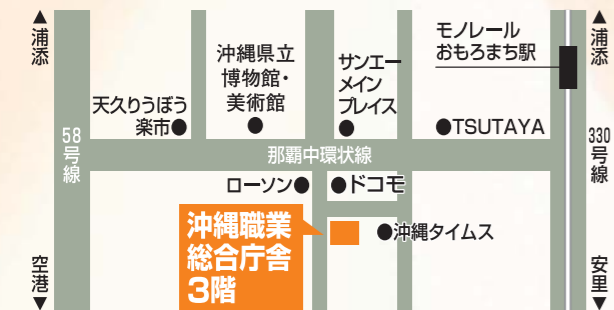
高校生県外就職意識啓発事業

「県外で働くことに興味があるけど、行ってみるまで詳しいことがわからないし、なんだか不安……」という高校生のために、各県立高校で、その学校出身で県外に就職した先輩と、その企業の担当者を招いてお話を聞く会を開催しています。早いうちから自分の進路を決めることは、希望する仕事に就くための近道です。一・二年生のうちから、自分の進路について考えてみましょう。



沖縄県キャリアセンター

沖縄県キャリアセンターでは、十五歳から三十四歳の皆さんを対象に、「やりたい仕事かわからない」「履歴書を書いたけど、これでいいのか不安」といった悩みにキャリアコーチが個別に対応しています(要予約)。ほか、各種セミナーの開催や、就職に役立つ本なども用意しています。特別な用事がなくてもふらっと立ち寄ってみてください。



沖縄県キャリアセンター ☎098-866-5465

那覇市おもろまち1-3-25 沖縄職業総合庁舎3階(ハローワーク那覇)

【利用時間】月~金 9:00~17:15 【休館日】土・日・祝日・年末年始・慰霊の日

<http://www.career-ce.jp>



各学校で講座を開催 (就活パワフルサポート)

卒業した方のために、県外企業百社を招いた就職面接会を七月と十一月(予定)の二回開催します! 面接会には、沖縄県からの採用に意欲的な企業を厳選して招待します。面接会以降の二次面接・試験なども企業が沖縄まで来てくれるので就活の負担が軽減されます。また、県外での就職に不安があるという方は、採用前に実際にその企業で働いてみるインターンシップも活用できます。さらに、「子供を県外にやるのは不安」という保護者のためのセミナーも開催します。親子で就職について話をするきっかけにしてみませんか?

お問い合わせ 県雇用政策課 TEL:098-866-2324 FAX:098-866-2355

飛び出せ!! OKINAWA みんなでグッジョブ運動

ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている
ヒトやモノ・コト、企業のおふれる
パワーをお届けします。

薬草



ハーブカフェや自社農園もある
「有限会社沖縄長生薬草本社」



「医食同源の考えに基づく「沖縄の薬草」

ウコンやヨモギ、グアバや長命草など沖縄でポピュラーな薬草が近年、県外や海外から注目されています。沖縄の薬草茶が全国の沖縄物産展で人気を博すほか、本土大手飲料メーカー・健康食品メーカーも沖縄の薬草を使った商品を次々に開発。

沖縄の薬草一筋に約四十年も研究や商品開発を続けてきた有限会社沖縄長生薬草本社社長の下地清吉さんは、「沖縄の薬草は、琉球王朝時代から伝わる『医食同源』の考えに基づき、食材として野菜代わりに摂られてきたものが多い。先人が生活の中で活用してきたものが、民間伝承の形で現在に伝わったんです」と語ります。下地さん自身も幼い頃、風邪やケガの時には祖母や母が薬草を煎じてくれるなど沖縄の薬草に親しんで育ち、その効能や不思議な魅力に心ひかれてきました。



代表取締役社長 下地清吉さん

宇宙を旅した「種」を 中高生の教育現場で活用

二〇〇八年からスタートした国際宇宙ステーション「きぼう」を活用した「宇宙教育プロジェクト」では、ウコンの根茎や長命草の種などの沖縄の薬草が宇宙へ。下地さんは「故郷の宮古島をはじめ、沖縄の若者たちに夢を与えたい」と、協賛企業として同プロジェクトに協力しました。宇宙から持ち帰った根茎や種は、県内の中高生によって育てられ、その変化を継続して調査・報告。生きた教育として活用されています。沖縄の薬草の新しい可能性の発見に夢がふくらみます。

沖縄の薬草の可能性、 今後の課題

安全性の高い製品を提供するため、無農薬栽培にこだわり、薬草の栽培から収穫、製造、販売までを自社で一貫して行っている下地さん。人気の薬草茶は、ウコンやグアバ、クミスクチンほか、三十八種の薬草の実・草・木・皮・根をバランス良くブレンドすることにより、味や効能、相性を考えて相乗効果をアップしたするなど。先人の知恵や研究結果、下地さんの子ども時代

活躍する社員さん

すこやかな生活をお手伝いする商品を提供したい。

有限会社沖縄長生薬草本社
販売部 専任担当 野原 祥行 さん



この仕事に誇りを持っている野原さんをご紹介します!



カフェ併設のショップでお客様に商品の説明をする野原さん

北海道から鹿児島まで、全国の物産展で沖縄の薬草の素晴らしさをお届けするのが私の役目。商品を使ったお客様から喜びの声を聞くと、やりがいや使命感を感じます。お客様の声は必ず社に持ち帰り、商品の改善や作り手のモチベーション向上に生かしています。健康な生活は幸せのバロメーターだと思いますね。インターネットを活用し、今後は沖縄の薬草の素晴らしさを世界に発信していきたい。



独自品種の大きな秋ウコン
「沖縄皇金(おきなわおうごん)」

の実験などが総合的に生かされています。また、国内大学との共同研究・開発も積極的に行っています。「薬草の宝庫である沖縄はビジネスチャンスも無限大。今後は薬草が健康増進だけでなく、副作用のない万能薬として世界を救う可能性が大いにある」と瞳を輝かせ、その

のためには「大学院大学などの専門機関で薬草のメカニズムを徹底説明し、確かなエビデンスを集積してもらいたい」と訴えます。一企業だけでなく県全体で沖縄の薬草を守り育て、研究・開発していくことが、郷土の経済発展や未来を切り拓くカギになるといえるでしょう。

沖縄の薬草は魅力がいっぱいよ。



自社農園の一角で青々と元気に育った長命草

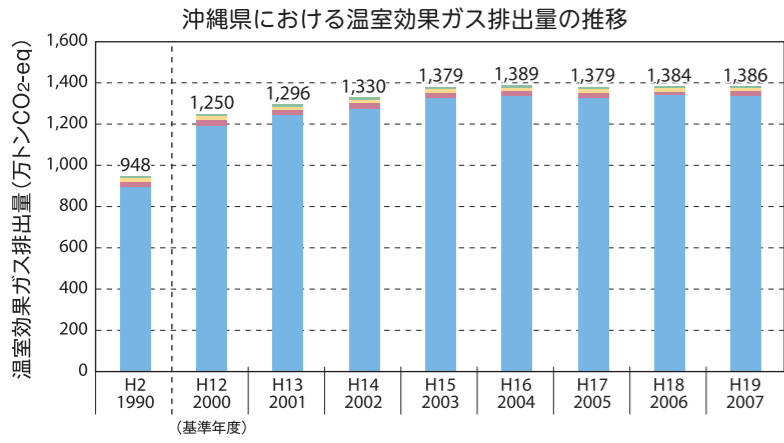


ずらりと並んだ沖縄の薬草は色や香り、味や効能もさまざま



自社農園でピンク色の可憐な花を咲かせる春ウコン

「亜熱帯気候で紫外線が強いこと、ミネラル分の多い潮風が吹きつけることが、抗酸化作用の高い沖縄の薬草をはぐくむ要素になっています」と下地さん。台風銀座の沖縄では強風も害虫除去にプラスに働いており、独特の気候が沖縄の薬草にしかない価値を高めているといいます。特に、免疫の働きを高める「免疫賦活(ふかつ)作用」が強いと言われる春ウコンには、医学界や海外マーケットから大きな期待が寄せられています。

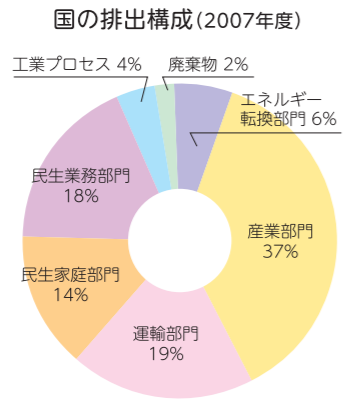
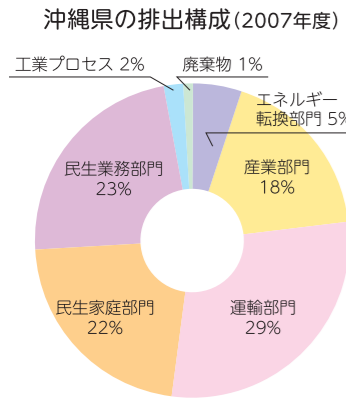


地球温暖化は地球全体の問題ですが、その原因や解決策は私たち一人ひとりの日々の暮らしに直結しています。日常生活における節電など、私たち一人ひとりができる身近なことから取り組みましょう。

地球温暖化を防止しましょう

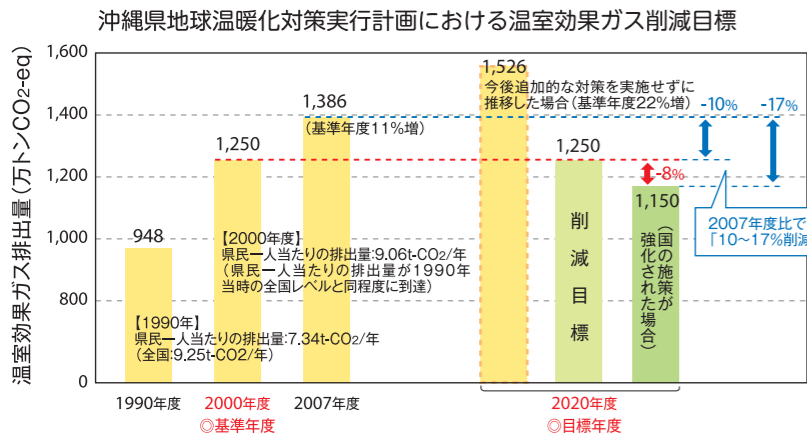
○県内における温室効果ガス排出の現状

沖縄県では、一九九〇年代以降にエネルギー消費量が急速に増加し、温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン類)の排出量も全国並みに高くなってきました。



二〇〇七年度における沖縄県内の温室効果ガスの排出量は、一三八六トン(二酸化炭素換算)となっており、二〇〇〇年度比で十一%増加しています。

部門別の排出割合を国と比較すると、沖縄県は産業部門の割合が小さく、その分、他の部門の比率が高くなっています。



沖縄県地球温暖化対策実行計画

沖縄県では温室効果ガス排出量が急激に増加していることから、県全体の温室効果ガス排出量を削減するための計画が必要となっています。

そのため、県では、県や市町村、事業者及び県民がそれぞれの役割に応じて地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進することを目的として、平成二十二年に「沖縄県地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

皆様へのお願い

地球温暖化の防止につながる節電や節水、エコドライブなどの取組は、私たちの暮らしの中でも今すぐ実践できます。かけがえのない地球を守り、沖縄の豊かな自然環境を未来の世代に引き継いでいくためにも、引き続き県民の皆様のご理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

※沖縄県環境政策課のホームページでは、県が実施する地球温暖化対策事業や、家庭でできる取り組みなどを紹介しております。

削減目標(二〇二〇年度)

二〇〇〇年度と同レベル(八%削減)重点施策

- ① 低炭素エネルギー利用の推進
- ② 公共交通の利用促進
- ③ 観光関連産業の低炭素化
- ④ 意識啓発と家庭や業務系施設の省エネの推進

本計画では、平成二十三年から平成三十二年の十年間において、温室効果ガスの排出を抑制するため、県全体の温室効果ガス削減目標を定めるとともに、計画を着実に推進するために重点的に実施する施策の設定や進行管理の徹底、推進体制の整備を図ることとしています。

中小企業の資金繰りを支援します

沖縄県融資制度

制度の概要

県融資制度は、県内の中小企業者、協同組合等向けの融資制度であり、県、金融機関、県信用保証協会等の関係機関が一体となって中小企業の事業活動に必要な資金を融資することで資金調達の円滑化を図り、県内中小企業の振興に寄与することを目的としています。

現在、融資の目的に応じて短期運転資金、小規模企業対策資金など十三資金があります。

融資の対象は、県内において、一年以上同一事業を営む中小企業、創業者支援資金、ベンチャー支援資金及び企業立地推進貸付を除く。などで資金によって各々の要件が定められています。

また、融資は、原則、沖縄県信用保証協会の保証付きで、ご負担していただく保証料については、県の補助が適用されています。

なお、融資利率は、一部資金を除き、固定で年二%です。

● 零細企業、小規模企業者を支援します。

資金名	利用できる方
小口零細企業資金	従業員20人以下の企業(商業、サービス業は5人以下)で、既存の保証協会の保証付融資残高との合計が1,250万円以下であること。
小規模企業対策資金(一般貸付)	従業員20人以下の企業(商業、サービス業は5人以下)
小規模企業対策資金(特別小口貸付)	従業員20人以下の企業(商業、サービス業は5人以下)で、中小企業信用保険法に規定する特別小口保険に該当する者(無担保・無保証人制度が適用されます。)

● 売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている事業者を支援します。

資金名	利用できる方
中小企業セーフティネット資金	売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている中小企業者、協同組合等
組織強化育成資金(セーフティネット貸付)	売上の減少等により資金繰りが厳しくなっている商工業関係組合及び構成企業

● 雇用促進を図る事業者を支援します。

資金名	利用できる方
雇用創出促進資金	事業拡大や多角化計画に基づき、新たに常時使用する従業員を1名以上雇い入れようとする中小企業者、協同組合等

● 事業再生に取り組む事業者を支援します。

資金名	利用できる方
中小企業再生支援資金	沖縄県中小企業再生支援協議会の支援を受け再生計画を策定した中小企業者、協同組合等

● その他、県内の中小企業者を支援します。

資金名	利用できる方
短期運転資金	短期的な運転資金を必要とする中小企業者
経営振興資金	経営の近代化、合理化を図る中小企業者、協同組合等
組織強化育成資金(一般貸付)	商工業関係組合及び構成企業

● 創業、ベンチャー、新たな分野へ進出する方を支援します。

資金名	利用できる方
創業者支援資金	独立・開業を行う者又は開業後1年未満の事業者で、商工会、商工会議所等の指導を受け、創業計画書を作成する必要があります。
ベンチャー支援資金	ベンチャービジネスを展開する中小企業者、協同組合等
新事業分野進出資金	事業転換や多角化により新たな事業分野に進出する中小企業者、協同組合等

● 地域産業の振興に積極的に取り組む事業者を支援します。

資金名	利用できる方
観光リゾート振興資金	観光関連の事業を営み地域の観光振興に寄与する中小企業者、協同組合等
産業振興資金(オキナワ型産業振興貸付)	オキナワ型産業(健康食品産業、バイオ関連産業、健康サービス産業、泡盛産業、工芸産業、環境関連産業)を営む中小企業者、協同組合等
産業振興資金(企業立地推進貸付)	自由貿易地域、情報通信産業特別地区等において、工場、事業所等を設置しようとする中小企業者、協同組合等



試験

地域限定通訳案内士試験

- 第一次試験日 8月27日(土) (地理等試験) 8月28日(日) (外国語試験)
- 申込書配布及び受付期間 5月16日(月)～6月30日(木)
- 申込場所 県観光政策課
- 配布場所 県観光政策課、名護県税事務所、県宮古事務所総務課、県八重山事務所総務課、コザ県税事務所(財)沖縄観光コンベンションビューロー
- 受験手数料 8100円
- 問合せ 試験/県観光政策課 ☎098-8666-2763
- 試験対策セミナー/沖縄観光コンベンションビューロー ☎098-8559-6129

介護支援専門員資格試験

- 申込書類の配布期間及び受付期間 6月13日(月)～7月15日(金)
- 試験日時 10月23日(日) 午前10時開始
- 備考 申込書の配布及び提出先は、試験実施機関の沖縄県社会福祉協議会・福祉人材研修センターまで

募集

ユイマール塾活動支援事業

- 応募内容 教育環境の改善、人材の育成、地域の振興を図ることを目的としたユイマール塾の運営を支援します。詳しい内容や応募方法、申請書などについては(社)沖縄県対米請求事業協会ホームページでご確認ください。
- 提出期限 4月1日(金)～12月28日(水)まで
- 提出先 (社)沖縄県対米請求事業協会
- 問合せ (社)沖縄県対米請求事業協会 ☎098-8662-9390
- 県地域・離島課 ☎098-866-2370

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
31						

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) ☎098-941-8200

- ◆バックヤードツアー
 - 日時:6月11日(土)
 - 美術館:午前11時～12時
 - 博物館:午後2時～3時
 - 集合場所:美術館:当館エントランスホール
 - 博物館:当館ふれあい体験室前
 - 参加費:無料
 - 定員:博物館、美術館各先着12名
 - ※午前9時から総合案内にて受付
 - 内容:当館学芸員が、館のバックヤードを案内します。

博物館

- ◆博物館文化講座
 - 『はやぶさ』から買ったもの
 - 日時:6月4日(土)午後2時～4時(午後1時半開場)
 - 講師:JAXA宇宙科学研究所研究員 細田聡史氏
 - 会場:3階講堂
 - 定員:当日先着200名
 - 参加費:無料

美術館

- ◆岡本太郎と沖縄
 - 生誕100年記念展「岡本太郎と沖縄」
 - 期間:5月31日(火)～6月26日(日)
 - 会場:ギャラリー1・2
 - 観覧料:一般1000円、高校・大学生700円、小・中学生400円
 - 内容:日本を代表する芸術家・岡本太郎(1911～1996)の生誕100年を記念して開かれる展覧会。太郎が初めて沖縄を訪れた1959年前後の芸術活動に焦点を当て、沖縄と関連付けた展示を展開します。

- 問合せ 県土地対策課 ☎098-8666-2040
- ハブ咬症注意報発令中
 - 内容 例年5月から6月にかけてハブ咬症被害が増加する傾向にあるため、県では「ハブ咬症注意報」を発令しています。ハブによる被害を未然に防止するため、草刈り、ネズミの駆除など敷地内の環境整備を行い、ハブが生息、侵入しにくい環境を整えましょう。
 - 問合せ 県業務疾病対策課 ☎098-8666-2215
- 労働保険の年度更新
 - 更新期間 6月1日(水)～7月11日(月)
 - 内容 労働保険の年度更新
 - 問合せ 沖縄労働局労働保険徴収室 ☎098-8668-4038
- 障害者歯科地域協力医
 - 「沖縄県障害者歯科地域協力医」は、社団法人沖縄県歯科医師会が実施している、障害児(者)への歯科治療について研修を受けた歯科医です。

- 障害者の歯科治療を受診ご希望の方は、沖縄県歯科医師会ホームページをご覧ください。
- ※当歯科医院における治療費は、他の歯科医院と同様に通常の費用(3割等の自己負担)がかかります。
- 問合せ 沖縄県歯科医師会 ☎098-877-11811
- ダメゼツタイ運動
 - 期間 6月20日(月)～7月19日(火)
 - 内容 薬物乱用の根絶を目指し、県民一人一人の薬物乱用問題に対する認識を高める。また、街頭キャンペーン等を通じて「ダメゼツタイ」国連支援募金の協力をお願いする。
 - 街頭キャンペーン日時 6月25日(土)午後4時より
 - 問合せ 県業務疾病対策課 ☎098-8666-2215
- 沖縄全戦没者追悼式
 - 日時 6月23日(木)午前11時50分
 - 会場 平和祈念公園(糸満市摩文)
 - 内容 先の大戦で戦没された方々の

- 講習:ワードエクセル3級
 - 講習期間 7月7日(木)～8月16日(火) (月～金 午前9時～午後3時)
 - 会場 労政・女性就業センター(那覇)
 - 内容 ワード・表計算3級取得を目指す
 - 申込方法 来所申込 6月27日(月)・28日(火) 午前9時～11時30分、午後1時～4時
 - 選考方法 筆記試験・面接 7月1日(金) 定員20名
 - 対象者 パソコンの基本操作が可能で簡単な文書作成ができる就業したい女性
 - 受講料 無料(但し、教材費・検定料等は自己負担)
 - 問合せ 県労政・女性就業センター ☎098-863-1788
- 第2回就農サポーター講座 受講生募集
 - 応募資格 就業予定の他産業従事者やUターン青年等で60歳未満の方
 - 受講料 無料(但し、保険料等は自己負担)
 - 募集期間 6月10日(金)～7月8日(金)
 - 実施機関 8月上旬～11月上旬
 - 募集定員 30名程度
 - 実施場所 県立農業高等学校等
 - 問合せ 県営農業支援課 ☎098-8666-2280
- お知らせ
 - 国土調査の地図・簿冊閲覧
 - 期間 6月1日(水)～6月20日(月) 午前9時30分～午後5時まで(但し、土・日・祝日は除く)
 - 会場 那覇市役所首里支所1階
 - 内容 国土調査による地図及び簿冊の閲覧(那覇市首里汀良町地域)
 - 御霊をなぐさめるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信する。
 - 備考 来場の際は公共交通機関をご利用ください。
 - 問合せ 県福祉・援護課 ☎098-8666-2177
 - 平和メッセージ展開催告知
 - 内容 平和を尊ぶ心を育てることを目的に、県内の児童生徒から募集した「図画・作文・詩」の優良賞以上の作品を県内5会場にて展示します。
 - 展示会場及び展示期間
 - 沖縄県平和祈念資料館 (6月23日(木)～7月6日(水))
 - 石垣市八重山平和祈念館 (7月13日(水)～21日(木))
 - 名護博物館 (7月27日(水)～31日(日))
 - うるま市立石川歴史民俗資料館 (8月2日(火)～7日(日))
 - 県庁1階県民ホール (8月15日(月)～19日(金))
 - 問合せ 沖縄県平和祈念資料館 ☎098-997-13844

県広報課からのお知らせ

- 6月 放送予定
 - 4日・5日 / 「沖縄21世紀ビジョン基本計画」について
 - 11日・12日 / 地球温暖化対策の推進について
 - 18日・19日 / 沖縄新規学卒者等緊急就職支援事業 キックオフプログラムについて
 - 25日・26日 / 万引き抑止対策について



ラジオ県民室

ご意見・ご提言 募集中

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日
ラジオ沖縄 (864KHz) 11:50～11:55
RBCiラジオ (738KHz) 11:55～12:00
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。

あて先 県民ご意見箱・知事へのたより
※記入様式等は、ホームページをご覧ください。

詳しくはホームページへ 沖縄県 検索 トップページ ▶ 広報・広聴について ▶ 広報誌、テレビ番組等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

東日本大震災で避難されている皆様へのお願い

全国の市町村で 平成23年4月25日までに 受付開始(※)

①提供していただく情報
・氏名、生年月日、性別・避難前の住所
・避難先(避難所、個人宅等)の情報

②お知らせ
・見舞金等の各種給付の連絡・国民健康保険証の再発行
・税や保険料の減免・猶予・期限延長等の通知 など

避難先(避難所) → 避難先の市町村 → 避難先の都道府県 → 避難前にお住まいの市町村

※受付開始時期など詳しくは、避難先の市町村へお問い合わせください。

お問い合わせ 県市町村課 TEL.098-866-2134

つながり つづくよ 人の輪 地域の和



行政がサポート
農産物の需要と供給、そのマッチングをめぐりして



村内で採れたゴーヤーのおかずを頬張る子どもたち。毎月16日(イモの日)はイモが献立に登場

地元の食材は新鮮でおいしいネ!

現在、読谷村では、地元の農産物や水産物を積極的に活用する「地

相乗効果

子どもたちは食べ残しがなくなり、生産者はヤル気に



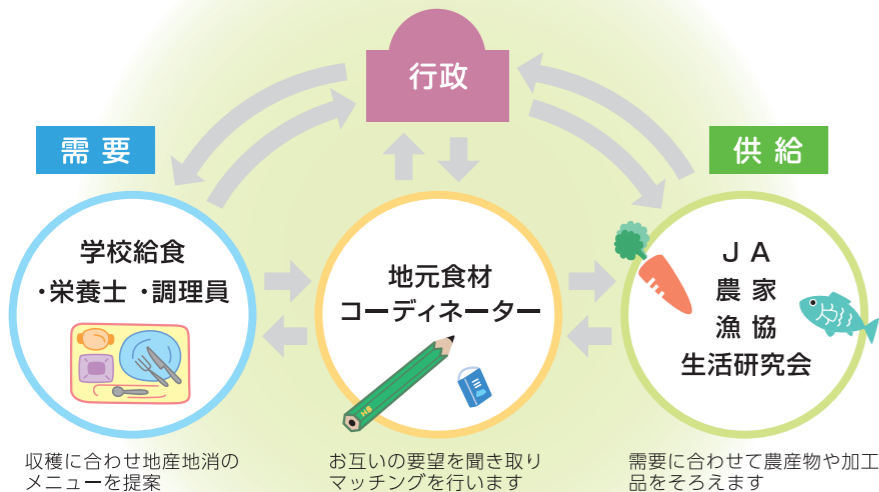
地元の食材が地域の活力になります。

同会の活動は、子どもたちの食育、生産者の意欲向上に効果をあげています。食材を作った方々の名前が給食便りで紹介されたり、生産者が給食の場へ招かれ一緒に食事をする取り組みが行われたことで、給食の食べ残しが減りました。「給食での利用に合わせて作物を植え付けたい」という生産者からの相談も増加。今、確かな回答ができるように過去の食材発注データをまとめられています」と地元食材コーディネーターの比嘉優祐さんは、地産地消流通システムの発展期における新たな取り組みを語りました。



新鮮な農産物や加工品などが並ぶ「ゆんた市場」。県内ファーマーズマーケットでは初となる食材加工場と食育情報スペースを持つ

読谷村の地産地消連絡会



地元食材コーディネーターの比嘉優祐さん

昨年は、生産圃場の見学会や、約八十人参加のJAおきなわ主催「地産地消大交流会」も実施。今年四月には生産物の集積拠点、読谷ファ



読谷村役場 農業推進課の城間康彦さん

「地産地消連絡会」は、消費者と生産者の情報を集約し、地元食材の有効活用を目指します。産地消」の取り組みを村内小中学校の学校給食で行っています。この取り組みを円滑に進める上で力ギを握るのが「地産地消連絡会」。平成十六年に発足した同会は、規格外で換金が難しい農産物の有効活用や計画生産につながる流通システムづくりを大きな課題とし、最初に取り組んだのが、学校給食への食材供給でした。翌月の献立を決定する直前に行われる会議では、栄養士が使用したい食材を提案し、JAが調達量を返答するという内容を中心に進行。学校の栄養士、調理担当者、JA関係者、行政担当者のほかに、「地元食材コーディネ

読谷村

「地産地消連絡会」は、消費者と生産者の情報を集約し、地元食材の有効活用を目指します。

「コーディネーター」が参加しています。コーディネーターは同会のキーパーソン。「学校給食側や農家、JAの要望など、それぞれの情報の一元化を担うのが地元食材コーディネーター。信頼関係づくりの要です」と、同村農業推進課の城間康彦さんは語ります。

強い信頼関係

二年間の実証試験期間。試行錯誤を繰り返しながら



コーディネーターの役割って重要ですね。

特産品である紅イモを使った紅イモチップス、紅イモのお菓子などをJA女性部や生活研究会で調達・納入することからスタートした同会の活動は、平成十九年、本格的に動きだしました。当初の取り組みとして、栄養士から必要な食材を聞き取ってリストをつくり、農家へ供給依頼に出かけ、納入・検

「イマーズマーケット「ゆんた市場」がオープンし、夢はさらにふくらみます。「将来は、参加する農家の圃場にのぼりを立てての活動PR、ホテルや福祉施設への供給も担いたい」と城間さん。同会からは、地元農産物を使用したお菓子などの商品も生まれました。食育、生産者の意欲向上、起業促進など、地元を元気にする同会への期待は高まります。



毎月一回行われる会議。忌憚のない意見のやりとりは信頼関係が築かれているからこそ



皆で力を合わせる
ことが大切ね。

編集後記

先日、とあるご縁で門中墓で行われるシーミー(清明祭)に参加しました。同じ門中の方が親戚ごとに続々と訪れるため、普通の数倍はあろう大きなお墓も満員状態。大勢の人々が一同に集まる姿に、先祖を敬う沖縄の風土の素晴らしさを感じました。(kai)

広報誌の作成にあたって、自分が生まれ育った沖縄でも知らなかったことがたくさんあり、勉強不足を痛感しています。市町村の取り組みや、沖縄の企業を紹介していくことで、皆様知らなかった沖縄をもっと紹介していければと思います。(tama)

平成23年6月1日発行 第35巻6号通巻429号

沖縄県広報誌 **美ら島沖縄**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら **美ら島沖縄** **検索**

▶ 携帯電話は、右のQRコードから



読谷ファーマーズマーケットで加工を担当する上地成子さん

